

訓練計画

訓練会場		訓練実施項目	シェイクアウト訓練
------	--	--------	-----------

計画作成・まとめ機関	姫路市
訓練活動時間	09:00～09:03

	実施対象	実施人数	実施場所
訓練参加者	英賀保地区住民	200名	自宅
	飾磨消防団	20名	
	飾磨消防署	10名	
	姫路海上保安部	5名	
	防災士会	7名	
	訓練参加市職員	17名	
		名	
	計	254名	

【訓練想定】
 南海トラフ地震の発生(発災は9:00)により、ひょうご防災ネット、地域コミュニティFM放送等の合図によりシェイクアウト訓練を実施する。

【活動概要】
 09:00～09:03 シェイクアウト実施

当日使用する情報伝達手段	ひょうご防災ネット、コミュニティ放送(名称:FMGENKI)
図面	
留意点	
備考	

訓練計画

訓練エリア		訓練実施項目	住民一斉避難訓練
-------	--	--------	----------

計画作成・まとめ機関	姫路市
訓練活動時間	09:03～10:00

訓練参加者	実施対象	実施人数	実施場所(避難先)	
	英賀保地区住民(東ブロック)	50名	各地区 一時避難場所	→英賀保小学校
	英賀保地区住民(西ブロック)	50名		
	英賀保地区住民(南ブロック)	50名		
	英賀保地区住民(北ブロック)	50名		
		名		
計	200名			

訓練参加機関	機関・団体名	実施人数	車両等		任務等
			種別	数量	
	飾磨消防団	20名	消防車	1台	避難誘導
飾磨消防署	10名	消防車	1台	避難誘導	
飾磨警察署	2名	パトカー	1台	交通整理	
姫路海上保安部	5名		1隻	海上における避難広報	
計	32名				

【訓練想定】
 シェイクアウト訓練実施後、訓練参加者は非常持出袋を持って、徒歩で各地区の一時避難場所に集まり、安否確認(参加者名簿のチェック)、避難目標地及び避難経路を確認する。
 確認後、津波警報が解除したと想定し、指定避難所である英賀保小学校に向かう。

【活動概要】

09:03～09:10 自治会放送等にて避難の呼びかけ(津波警報発表の想定)、避難準備
 // 車両による巡回広報(飾磨消防団)
 // 海上から汽笛やスピーカー等で避難広報を実施(姫路海上保安部)

09:10～09:20 一時避難場所へ避難(災害時要援護者への支援)
 // 分団員による避難誘導(飾磨消防団)
 // 地区主要交差点を中心に住民避難に伴う交通整理(飾磨警察署)

[一時避難場所] ・避難者の安否確認(点呼、名簿確認)
 ・避難目標地、避難経路の確認
 ・津波に関する意識啓発

09:20～10:00 指定避難所へ避難

当日使用する情報伝達手段	自治会放送、コミュニティ放送(名称:FMゲンキ)
図面	
留意点	
備考	